



Fujita

脳神経外科友の会



藤田医科大学 ばんだね病院

Fujita 脳神経外科友の会

「会報」60号 2023年(令和5年)8月

事務局／名古屋市中川区尾頭橋3丁目6番10

TEL (0561)38-7220

FAX (052)323-5800

Mail:neuron2@fujita-hu.ac.jp

会報 60号

2023年(令和5年)8月



油絵・俳画	表紙
金沢会長あいさつ	1
佐野先生あいさつ	2
加藤先生あいさつ	3
堀口病院長あいさつ	4
健康コラム 松浦広昂先生	5
谷大輝先生	5
活動報告	6
おたよりコーナー	10
俳画・写真・絵・書	12
ご寄付の一覧・写真・編集後記	14
加藤庸子国際基金のご案内	裏表紙



永田勝美様／提供

足助のたんころりん夕涼み



鈴木康則様／提供



児玉ゆき江様／提供

おたよりの送付先：〒454-8509 名古屋市中川区尾頭橋3丁目6番10

藤田医科大学ばんだね病院脳神経外科医局内

Fujita 脳神経外科友の会事務局 宛

TEL : 0561-38-7220 FAX : 052-323-5800

Mail : neuron2@fujita-hu.ac.jp

<https://fujita-tomonokai.com/>

友の会
QRコード



ごあいさつ



友の会の会員の皆様を始め関係者の皆さん
こんにちは。日頃は友の会の発展に惜しみ無い
協力と力添えを頂き心から感謝致します。振り
返って見ますと40ヶ月前に青天の霹靂の如く
人類を震撼させたコロナ禍騒動に見舞われま
した。感染症が広がる中を友の会の活動にもご
多分に漏れず多大な支障を受ける事は避けら
れず会員の皆様に於いては楽しみになさって
いた、毎年行なわれる年中行事が軒並みに中止
となりました事を誠に申し訳なく思っており
ます。この様な事態に陥っても組織を守るため
役員同士で意思の疎通を計る事が最も重要だ
と安藤副会長が率先して打開策を打ち出し、画
面を通じたZOOMに依る会議を定例化した
事が功を奏し、役員との連携を深める大きな役
割を果たしました。安藤副会長の功績にとても
感謝しております。政府の見解として特定の場
を除きマスクの着用は自身の判断に委ねる、と
方針が決まりましたので今後は我々も会議を

対面でマスクの着用なしで素顔
のまま笑顔を交えながら忌憚の
ない意見交換が出来る役員会を
実現させる方向で友の会の組織
を盛り上げるつもりであります
が会員様からの要望に応えられ
る努力をして行きたいと思っ
ております。

先の展望に少しの明かりが見え
て来ましたので来る9月24日(日)
の午後2時から名古屋駅の隣に
ある旧郵便局の跡地のJPTタ
ワー名古屋若しくは「KITTE
名古屋」の新しいビルになります
が4年ぶりにその会場を借りて
友の会が主催して行う市民
フォーラムを開催しますので
奮って参加していただけると有
難いです。久しぶりに再会出来る
ことを楽しみにしていますので
宜しくお願い致します。

最後に皆様のご多幸を願い末
永く健康で過ごされる事を祈念
致します!!

令和五年八月 吉日

会長 金沢 敬雄



加藤先生、佐藤秘書、留学生、牟田理事(基金)の皆さんと(2023年2月27日)

日々の小さな努力



総合新川橋病院 副院長
Fujita 脳神経外科友の会顧問

佐野 公俊

友の会の皆様お元気でしょうか？5月にコロナがインフルエンザと同じ5類になり、法律的には色々な規制が取れ、自由になったのですが病気というのは、本来法律で決めるものではないのであまりに羽根を伸ばしすぎるとまた第9波が来てしまうのかもしれない。我々も今までの経験の上に外や人の少ない所ではマスクを外し、電車などの人の込み合うところではマスクをし、手をアルコール消毒するといった自己防衛が大切かと思えます。

天候においても今まで日本ではおこらなかったような竜巻や線状降水帯で狭い範囲の集中豪雨が起こり、私も時々手術に行っている豊川の青山病院も外来などが冠水してしまい、一週間ほど大変だったようでそれも金曜日だったのでもし手術を入れていたら、私も巻き込まれていたでしょうから他人事とは思えま

せんでした。

最近私の周囲も不慮の事故などによる死亡も多く、日々の鍛錬の重要さを改めて、大切と思っております。私はあいかわらず手術と外来とそして時間のある限り、土日はテニスで足を鍛えております。

以前、友の会の公開講座でも話しましたが若い頃はともかく、ある程度年を重ねると若返るのは無理ですが年を取る速度は遅くすることは出来ると思います。そのためには体も頭も使い続けること、継続は力なりで一度やめてしまうと戻することは難しいので体を動かすこと、頭を使うことは少しぐらいしんどくても続けること、それを疲れたからとやめてしまうと坂を転がり落ちることくに老化を助長してしまいます。確かにこの10年平均寿命は延びましたが健康寿命はさほど伸びていないのです。

友の会の皆さん、健康寿命を伸ばしたければ毎日の努力、もう疲れたからと思っても、そこからもう1回分の努力、頑張りを続けると1年、5年、10年したとき、同じ顔、同じ状態であれば若いねと言われます。私も年とともに疲れを感じますがほんの少しの頑張りが年を取るのを遅らせることができる信じて、日々の努力の積みかさねがそれをした人とそうでない人の差を1年後、3年後に大きな差となつてい

ると思います。
お互い心がけていきたいものです。来年こそ、対面でお会いしたいものです。



弘法大師ご生誕1250年記念行事に湯川住職と、島本先生、兵頭先生と参加



藤田医科大学脳外科医局員と久しぶりに関東で



総合新川橋病院に常勤女性医師が入局

ごあいさつ



Fujita 脳神経外科 友の会 顧問
藤田医科大学ばんだね病院
脳神経外科 教授・統括副院長
ストロークセンターセンター長

加藤 庸子

2023年6月4日、3年ぶりの友の会の旅行は、日帰りという短い時間ではありましたが、知多内海の海辺へと向かいました。

この特別な日には、看護部長をはじめとする看護部の力強い応援と、また翌日には帰国する4名の留学生医師も友情参加してくださり、安全に会を開催することができました。

この度は車イスを必要とされる方々や、軽い麻痺のある方々とご家族にお集まりいただき、皆様とともに楽しいひとときを共有し、美味しい昼食を頂戴し、ラジオ体操や海辺の散策をお楽しみいただき、3年分の想い出で心が一杯になりました。

新型コロナウイルスとの共存を迫られる現在ではありますが、皆様がしっかりとした気持ちと健康をキープされ、頑張られる様子は見事



であり、心から賞賛いたします。

この友の会の旅行を通じて、私たちの間には新たな絆が生まれました。異なる背景や状況の方々が心を通わせ、真摯な友情を育むことができました。

最後に、本会を縁の下から支えていただいた金沢会長、安藤副会長の皆様はじめとする友の会の役員の皆様、深く感謝申し上げます。皆様のお力添えが、この旅行を成功に導いたことを心から感謝しております。

診察室を越えて結ばれた皆様との生涯のお付き合いを、今後も大切に続けてまいります。一緒に歩んでいくことで、さらなる成長と共に、より豊かな経験を積むことができると思います。

医師として、友の会の一員として、これからも皆様と共に歩んでいきたいと思っております。

顧問 加藤庸子



脳神経外科友の会に寄せて



藤田医科大学ばんだね病院
病院長

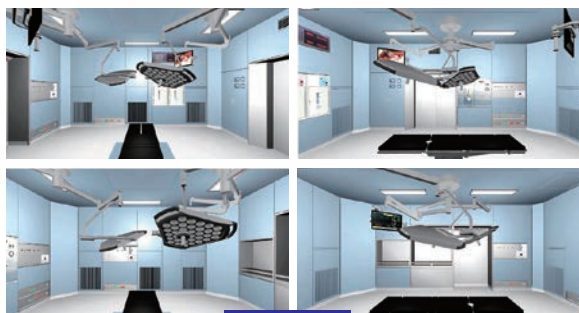
堀口 明彦

コロナ感染症も5類となり、対面の機会も増えてまいりました。脳神経外科友の会の皆様におかれましては大変お世話になっております。ばんだね病院職員を代表いたしまして御礼申し上げます。

皆様のおかげを持ちまして、ばんだね病院新棟が8月下旬に開棟いたします。外来棟、医局棟、検査棟を解体し、地下1階地上4階の新棟は着々完成に向かっていきます。この新棟は、地下1階に画像診断フロア、1階に救急外来、内科外来、2階に手術室7室、3階に小児科、眼科、4階には新たに透析センターを設置します。また、手術室を7室に新たに増設することで、様々な手術に対応できる体制とし、力を入れておりますロボット手術を含め高難度内視鏡下手術の充実を図ってまいります。さらに地域の透析医療のニーズに応えるべく、透析セン

ターを設置し、切れ目のない地域医療を提供していきます。新棟竣工後は、急性期病院として統括副院長加藤庸子先生の尽力による脳血管ストロークセンターをはじめ救急外来での心肺停止など重症患者の受け入れをさらに強化し、藤田医科大学の「断らない救急」を実践し、地域の救急医療高度化に貢献してまいります。また、救急外来が西側に移転するため、救急車が大回りする状況を是正し、病院西側の一方通行を逆側一方通行にするべく、地域住民、自治体、警察のご許可をいただきました。新棟開設により、ばんだね病院が目指すべき、いかなる患者さんも断らない地域に根付いた「ばんだねさん」としてさらに社会貢献をしていく所存です。

友の会講演会も再開し、対面による皆様の笑顔が伺えるのを楽しみにしております。脳神経外科友の会会長の金沢敬雄様はじめ、役員および会員の皆様の益々の発展とご健康を祈念いたします。



2階手術室



4階透析センター



藤田医科大学医学部リハビリテーション医学Ⅰ講座
藤田医科大学ばんだね病院 講師

松浦 広昂



装具療法

脳卒中や脊髄損傷などを発症後、装具（多くは短下肢装具、以下同様）・補助具を用いて歩行が可能となり自宅退院した後、次第に歩行機能が低下し、装具を変更すべき状況となっている例が散見される。歩行機能の低下の原因には、加齢や活動量低下などによる筋力低下、痙性の亢進などがある。不良な歩容による膝・腰の疼痛を機に受診し、対処に至る場合もあるが、受診に至らず結果的に不適切な装具を何年も使用していることもある。

1 装具作製の概要

障害者総合支援法によって装具を作製する場合、多くの場合3年で再作製が可能であるため、それ以上長期に使用されている場合、一度リハビリテーション科に紹介して、定期的なフォローに繋げるのが望ましい。装具の作製を更生相談所で一括対応している県もあるので、市役所で確認すると良い。

2 装具をみるポイント

患者、家族から相談が多いのは、長年の使用や風呂場での使用によって、ベルトの機能が低下する場合である。ベルトの交換で済む場合もあれば、本体の耐久性を考慮して本体ごと再作製をすすめることもある。なお、耐水性のベルトもあるので、浴室内で使用する場合相談すると良い。逆に、長年使用しているのにベルトや本体の問題が全然無い場合、使用頻度が低い可能性がある。下肢機能、歩行機能の改善により不要となっている例もあるが、廃用性筋萎縮や痙性亢進によって装着が困難となる場合、筋力低下などによって立脚時の安定性が不十分となる場合に使用を中断する例の方が多い。下腿部分のサイズ変更より安定性の高い装具を検討する。

3 紹介するポイント

装具のサイズや使用感の変化の訴えがある場合、あるのに装具を使わなくなった場合、定期的なフォローがない場合、紹介を検討する。また、装具がなくても、歩行能力低下や腰痛、下肢痛が装具、サポーターで改善できる場合もあるので紹介を検討する。多いのは変形性膝関節症、鶏眼、外反母趾に対する膝装具（サポーター）や足底板（インソール）である。

危険な腹痛 VS 腹部救急医

— お腹と命を守る戦士たち —

藤田医科大学ばんだね病院外科 助手

谷 大輝



人類の歴史は腹痛との戦いの歴史である。

腹部救急は端的に言えば、「危険な腹痛」に対して迅速な治療を行う医療です。また、特定の診療科が単独で行うのではなく、外科医、内科医、救急医、看護師、放射線技師など多分野のスタッフがチームとなって診療にあたります。このため、診療を主導する医師にリーダーシップやマネージメント力が必要とされることから腹部救急は「若手の登竜門」とも言われています。

では、命に関わるような「危険な腹痛」はどのようなもののでしょうか。腹痛を経験したことがない人はおそらくいないはずです。シクシクする痛みがあれば、刺すような痛み。トイレとお友達になれば治る痛みもあれば、眠れないほど激しい痛み。腹痛と一口に言っても、ありとあらゆるタイプがあります。一般的に、「突然襲ってきた今まで経験したことがないような強い痛み」、「何をしても何時間も治らない痛み」の場合、危険な腹痛の可能性が高いとされます。虫垂炎や腸閉塞、消化管穿孔が危険な腹痛を来す疾患の代表例としてあげられ、時に緊急手術の対象となります。腹部救急には、心筋梗塞や子宮外妊娠破裂など消化器系以外の疾患も多く含まれるため、場合によっては他の診療科に診察を依頼することもあります。

腹痛は極めてありふれた症状であることから、「なんとかなる!」と思われやすい症状です。しかし、「どうにもならない」危険な腹痛が潜んでいるため、何かおかしいと思ったら、決して我慢せず病院受診をお勧めします。ばんだね病院では24時間体制で皆さんのお腹と命を守る腹部救急医が腹痛との戦いに備えていますので、どうぞお気軽に受診してください。

人類と腹痛の戦いはこれからも続くー。

友の会日帰り旅行開催(2023年6月4日)

台風2号豪雨の後、天候にも恵まれた中で、車椅子・杖の会員20名、介助お手伝いの看護師さん6名、翌日帰国予定の留学生4名にも参加を頂き、サポートイン南知多の現地集合日帰り旅行を開催しました。

新型コロナで4年ぶりに加藤先生との懇談・会食・カラオケ・海岸散策とラジオ体操等、楽しく交流出来ました。次年度以降、日帰り・一泊旅行の企画検討予定です。



旅館での全員写真

Fujita 脳神経外科友の会

新型コロナウイルスの影響によりここ数年、Fujita脳神経外科友の会も影響を受け、ご家族様、そして私共スタッフらとともに旅行に行く楽しみが遠ざかるのを悔しい状況が続いておりました。この度、現地集合・解散ではありますが日帰り旅行を計画することになりました。お友達、ご家族様など大切な方々と共に是非ともご参加ください。もちろんお一人様からのご参加も大歓迎でございます。

日程：2023年6月4日(日) 11:00
会場：バリアフリーの宿サポートイン南知多 知多郡南知多町内海一色21-1 (TEL: 0569-89-8011)

<スケジュール>
11:00 サポートイン南知多 現地集合
 会食・懇談会・海辺の散策 など
15:00 解散

費用：付き添いの方のみ 3,000円
募集人数：車椅子、杖歩行の方 10組

お申し込み方法：会報に必要事項をご記入いただき、FAXまたは外来受付までご提出ください。
 皆さまのご参加を心よりお祈り申し上げます。

Fujita脳神経外科友の会 顧問
 藤田医科大学ばんだむ病院
 脳神経外科 教授 加藤 壽子

日帰り旅行
バリアフリーの宿
参加者募集中
サポートイン南知多へ



加藤先生を囲んで撮影



加藤先生と皆さん・留学生の方を入れて



相原看護部長と看護師の皆さん



ラジオ体操後、内海海岸で撮影



内海海岸でのラジオ体操風景

講演一覧

コロナ禍の中で会員の皆様の健康維持の一助として、2020年10月から毎月1～2講演を先生方ご協力のもと、友の会のホームページの「WEB会場」でYoutube（講演動画）を配信しています。

講演内容は多岐にわたり会員の皆様の健康維持に役立つ内容ですので是非ご視聴下さい。

視聴方法

友の会ホームページ「WEB会場」に掲載されている
Youtube（講演動画）を再生ください。

■ ホームページアドレス／<https://fujita-tomonokai.com/>



←HPは、こちらのQR
コードを読み込んで
いただくと簡単に
アクセスできます

ホームページWeb講演

講演日	講演タイトル	所 属	氏 名
2023年1月15日	乳がんの診断と治療	藤田医科大学医学部乳腺外科 教授	喜島 祐子
2023年2月 5日	肺癌治療の最前線	藤田医科大学ばんだね病院 消化器外科学講座 講師	加藤 宏之
2023年3月 5日	婦人科がんにおける低侵襲手術(MIS:minimal invasive surgery)	藤田医科大学 ばんだね病院 産婦人科 准教授	内海 史
2023年4月 9日	知っておくためになる日常生活に潜むアレルギー	藤田医科大学ばんだね病院 アレルギー科 教授	矢上 晶子
2023年5月 7日	災害が起きた時にはもう遅い！ 今からできる自らの命を守るための行動を身に着けましょう	藤田医科大学ばんだね病院 救急看護認定看護師	中村 仁哉
2023年6月 4日	肺癌の早期発見をめざして	藤田医科大学ばんだね病院 消化器内科 教授	橋本 千樹
2023年7月 2日	リハビリテーション医療へのロボットの活用	藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座 主任教授	大高 洋平
2023年8月 6日	消化器外科ロボット手術の最前線	藤田医科大学ばんだね病院 総合消化器外科 教授	須田 康一

オンライン講座

ZOOMでのWeb配信で各種講演を案内

第28回ばんだね病院 健康講座
2023年 6月12日(月) 17:30～

司会：堀口昭彦先生
（藤田医科大学ばんだね病院 消化器外科）
野崎裕成先生
（山形大学病院 消化器外科）
司会者：加藤 宏之先生
（藤田医科大学ばんだね病院 消化器外科）
植原 嘉子看護部長
（藤田医科大学ばんだね病院 看護部 看護部長）

特別講演1・カリキュラムコート
『不妊治療2023-健康保険
診療から1年を振り返って-』
演者：黒土 升蔵先生
常滑市民病院
婦人科統括部長

講演2・カリキュラムコート
『呼吸管理』
演者：片岡 惇先生
徳島大学病院
総合救急診療科
集中治療部門

講演3・カリキュラムコート
『肺癌（内科的治療の
移行変り）』
演者：堀口昭彦先生
藤田医科大学呼吸器内科
助教

講演4・カリキュラムコート
『近年話題の脆弱性
骨盤骨折について』
演者：堀田 智彦先生
藤田医科大学病院
中央診療部 FNP室

講演5・カリキュラムコート
『外来化学療法室の
役割と患者支援』
演者：片岡 容子先生
藤田医科大学がん化学療法センター
がん化学療法看護認定看護師
看護科長

協会の挨拶：植原 嘉子看護部長（藤田医科大学ばんだね病院 看護部 看護部長）

ZOOM ライブ配信
ID: 991 335 1434
パスコード: 1109

参加費 無料
Fujita脳神経外科友の会へ

意識消失・てんかんセミナー
身近な脳の病気を専門の医師が解説
(意識消失・てんかん)

どんな病気？ どんな症状？ どんな検査？

日程 2023年 7月21日(金) 18時40分～19時00分
場所 ZOOMによるWeb配信
ミーティングID: 991 335 1434 パスコード: 1109

株 抄 堀口 明彦 先生 加藤 庸子 先生
病院医/外科・小児外科 教授 副院長/脳神経外科 教授

特別講演
『てんかん・意識消失に関する
知識と対処法』
堀澤 士朗 先生
東京女子医科大学病院 脳神経外科 助教

主催：藤田医科大学ばんだね病院
Fujita脳神経外科友の会、加藤 嘉子看護部長
TEL: 052-323-5609 Mail: fuji21@fujita-hp.ac.jp

藤田医科大学ばんだね病院
認知症早期発見勉強会
7月31日 18:00～19:00

司会：堀口 昭彦先生（藤田医科大学ばんだね病院 消化器外科） 加藤 宏之先生（藤田医科大学ばんだね病院 消化器外科）

特別講演（各20分）
「一般脳神経科医から見た脳ドックにおける認知機能チェックの意義」
松永 成生先生
（横浜市民病院 脳ドック部 部長、脳神経外科 部長）

「認知症の早期発見」
中根 一先生
（東京大学医学部附属病院 脳神経外科 教授）

コメンタリー（各10分）
沼田 雅也先生（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 病院医）
奥村 歩先生（おくらメモリアルクリニック 院長）
堀澤 士朗先生（おくらメモリアルクリニック 院長）

協会の挨拶：加藤 嘉子先生（藤田医科大学ばんだね病院 看護部 看護部長）

ZOOM ライブ配信
ID: 991 335 1434
パスコード: 1109

友の会グッズ

清水口脳神経クリニックの小栗大吉先生の御厚意により、友の会ロゴ入りのLED付ボールペンを作製して頂きました。



市民フォーラム

4年ぶりに会場での市民フォーラムを開催致します。

2020年～2022年度は、友の会のホームページの「WEB会場」で市民フォーラムとして講演動画を配信して開催しました。

開催日 2023年9月24日(日) 14:00～16:00 (受付 13:30～)
無料健康相談、講演2件、アトラクション(マジック)を予定

開催会場 JPタワー名古屋(kitte名古屋3Fホール)

参加 申し込み不要・参加費無料



Fujita
脳神経外科友の会

第18回市民フォーラムプログラム

◆日程：2023年 9月24日(日)

◆時間：受付時間：13:30～ 無料医療相談：13:30～14:00

第18回 市民フォーラム：14:00～16:00

◆場所：JPタワー名古屋 3階 ホール1, 2
〒450-0002 名古屋市中村区名駅1-1-1
TEL: 052-589-8511

◆主催：Fujita脳神経外科友の会

会長 金沢敬雄 / 顧問 加藤庸子(ばんだね病院 脳神経外科 教授)

司会：加藤庸子先生(藤田医科大学ばんだね病院 脳神経外科 教授)

永井 太 (Fujita脳神経外科友の会 副会長)



アトラクション：14:00～14:30

くるわ大介 マジックショー

名古屋を中心にタレントとして活動してきたくるわさん。
ミスターマリックとの出会いでマジックの世界に魅了され、ご自身もマジシャンとして活躍されています。
タレントとして培ってきたトークと、マジックを使ったコミュニケーションは相手を楽しませる達人。



開会の挨拶：金沢敬雄(Fujita脳神経外科友の会 会長) 14:30～14:35
：加藤庸子(Fujita脳神経外科友の会 顧問) 14:35～14:40

<特別講演>

特別講演1「知っておきたい認知症の予防と治療-認知症にならないために、そして認知症と言われたときのために」

時 間：14:40～15:15

講演者：川畑信也先生

(八千代病院 神経内科部長)

質疑 ～15:15



特別講演2「変形性股関節症に対する人工股関節全置換術の最前線」

時 間：15:20～15:55

講演者：金治有彦教授

(藤田医科大学整形外科機能再建学臨床教授)

質疑 ～15:55



閉会の挨拶：城本 裕二 (Fujita脳神経外科友の会 副会長) 15:55～16:00

Fujita脳神経外科友の会 規約

(名称)

第1条 この会は「Fujita脳神経外科友の会」(以下「本会」という。)という。

(目的)

第2条 本会は脳神経疾患の患者及び家族の相互援助の精神に基づいて、脳神経疾患の医学的、社会的側面の理解の向上と患者間の友好を深めることを目的とする。

2 本会はボランティア団体であり営利目的の行為は行わないものとし、営利目的の行為が判明した場合は、役員会等において関係者の退会動議を諮る。

(事業)

第3条 本会の目的達成のため、以下の事業を行う。

- (1)年1回(4月を基本)、役員会を開催する。
- (2)年1回から2回の脳神経外科全般に対する勉強会を開催する。
- (3)年1回身体リハビリテーションを兼ねた一泊の学術講演会旅行を開催する。
- (4)会員の連携を図るための会報誌を発行する。(年1回以上)
- (5)(1)から(4)の他、本会の目的を達成するために必要な行事等を開催する。

(会員)

第4条 会員は、本会の目的に賛同した脳神経疾患をもった患者及び家族で、別紙に定める会費を納入したものとする。

(入会)

第5条 本会への入会は事務局に書面をもって申込むものとし、本会は会員証の発行をもって応諾する。

(会費)

第6条 会員は毎年、別紙記載の年会費を納入するものとし、会費未納入が2年間継続した場合は退会とする。

- 2 前項において、退会となる会員には本会より通知をする。
- 3 第1項で退会となった会員は、会員証を本会に返納しなければならない。

(計画・運営)

第7条 本会は次に掲げる役職者をもって事業等の計画、運営を行う。

- (1)会長:1名 (2)副会長:若干名 (3)常務役員:若干名 (4)役員:若干名 (5)顧問:若干名
- 2 役職者の任期は3年とし、再選を妨げない。
- 3 役職者は正当な理由無く役員会、行事に一年間出席しない場合、会長決裁で解任することができる。
- 4 会長は、必要に応じて臨時役員会を開催し、重要事項を審議する。
- 5 会長は、必要に応じて補佐役、相談役等を設けることができる。
- 6 常務委員は第一項にある役職者のうち(2)(4)より会長が選任する。
- 7 計画、運営にかかる経費等重要事項については、常務役員会で可否を検討し、役員会又は臨時役員会で審議をする。

(会計)

第8条 本会の経費は、会費と寄付金をもってこれにあてる。

- 2 全ての経費支出は常務役員会を経たうえで会長が決裁するものとする。
- 3 前2項のうち、通信費、事務経費等で1件当たり概ね1万円以内のものは、この限りではない。
- 4 本会の会計年度は、4月1日より翌年3月31日とする。
- 5 会計報告は役員会において会計を担当する役員が行うものとする。

(事務局)

第9条 本会の事務局は藤田医科大学ばんだね病院内に置く。

(会則)

第10条 本会則は役員の合意において変更・追加ができるものとし、事象が発生した場合は、役員会に付議し承認を得るものとする。

(賛助会員)

第11条 本会の趣旨に賛同し事業開催を支援する法人、個人を言う。

- 2 本会は、各支援方法について、法人、個人の意思を尊重するものとし、その内容を問わないものとする。

付 則

本会則は2023年4月1日より適用する。

会費額

区 分	金 額 等
会 員	年会費は3,000円とし、毎年納入する。
賛助会員	法人、個人の意思を尊重するものとし、その内容を問わない。

おたよりコーナー



六月四日の日帰り旅行に参加して

ボランティア 山崎 桂子

久しぶりの晴天に恵まれ、南知多の日帰り旅行を計画したところ、思いがけない人数が集まり実施できました。台風の合間の好天気にも恵まれ、元患者さん達の旅行のお手伝いをする事ができ、とてもうれしく思っております。

当日の元患者さん達の喜びと、久しぶりにとりもどした元気な姿がとても印象深いものを感じました。ホテルの協力により、バリアフリーの対応で元患者さん達もとても喜び特にカラオケでは、昔の元気な時を思い出したような明るく楽しいひとときだったように思いました。お手伝いをした私達もとてもうれしく思いました。旅行を通じて心身の機能を保ち、健康長寿を目指す気持ちを強く感じました。その姿から充実感や、幸福感も感じ取れました。



お寺巡り

檜岡 純子

月に一度、浄土真宗本願寺派本山の京都西本願寺(お西さん)に参拝しております。御朱印ならぬ参拝記念のしるしをいただきます法話を聞き、お坊さんによる境内案内に参加し生きる活力をいただいております。

道中、滋賀や奈良のお寺にも立ち寄りいろいろな仏像を拝み境内の景色を楽しみます。無趣味だった私達夫婦にライフワークができ会話も増え、それを楽しみに日々頑張ることが出来ます。その為には健康第一！ですね。



新役員 加藤 由喜弘

今年の3月30日に、加藤教授によりクリッピング術を受け、同時に役員の要請を受け、今回初めて参加した催しものがこの日帰り旅行でした。

参加していただいた皆さんの加藤教授愛と、イスラム教徒の留学生のためにメニューにはないハラールの食事をわざわざ提供してくれた宿に驚きました。

加藤教授にはもう少し仕事を控えられてもよいのではないかと思います、まだまだご活躍していただかなければならないという思いが入れ混ざる複雑な思いですが、患者さんとそのご家族のことを思えばこのような会があることは素晴らしいことだと思いました。

お手伝いできることがあればまた参加したいと思います。



突然のお誘いで会員になり、何かよく分からないまま今回日帰り旅行に参加させて頂きました。

何をすれば良いのか手伝えばいいのかやはり分からないままの参加でしたが何よりも参加して頂いた方達みなさん元気だと思ったのが第一印象でした。

またまだ一度も時間の都合により会議には顔も出すことが出来ませんし友の会の内容もよく分かっていませんけど、先生も含めて何よりも笑顔の絶えない集まりだと良いなと思います。

今後も堅苦しいのは苦手ですが、出来る限りは行事など参加していければと思います。



脳神経外科友の会 日帰り旅行を終えて

藤田医科大学ばんだね病院
看護部長 相原 晶子

新型コロナウイルスの影響で開催できなかった友の会の旅行が日帰りという形ではありましたが、6月4日(日)に開催することができました。感染症拡大前までは、毎年旅行が実施され、私も友の会の会員及びご家族の皆様との楽しい会話、おいしい食事を一緒に、忙しい毎日から離れリフレッシュをさせていただきながら、元気をいただいていたいました。

今回、南知多のバリアフリーの宿サポートイン南知多で昼食、懇親会、海辺の散策が企画され、ばんだね病院看護師5名と共に参加致しました。おいしい食事をいただきながら、皆様との楽しいおしゃべり、そしてカラオケでは、皆様と一緒に歌ったり踊ったりして、皆様のパワーのすごさに脱帽しました。海辺の散策では、私自身も本当に久しぶりの海に心が弾みました。短い時間でしたが、皆様と楽しい時間を過ごし、素敵な思い出を作ることができました。今回の旅行に参加された会員及びご家族の皆様のサポートに少しでもなれたらうれしいです。今後も皆様と楽しい時間を過ごすことができるように日々看護の技術を磨いてまいります。

最後に加藤庸子先生、役員の皆様、今回素敵な日帰り旅行を企画し、参加させていただいたことに、心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

日帰り旅行の感想（アンケートからの抜粋）

会員Aさん 友の会発足の目的は、医療職と患者とその家族が退院後の様々な問題や相談の場を設ける事で発足したと聞いています。一泊旅行として往復のバスの中、ホテルでの勉強会、食事会を通して先生や患者同士が和気あいあいと打ち解けて話ができる様にして下さい。又いつもはデイサービスの機械浴ですが看護師さんの助けでゆっくり温泉に入れることも女房にとっては非常に楽しみな事です。食事飲料など量的に少ない気がしました。日帰り運転手なので無理だけどやはりアルコールが欲しかった。一日旅行なのでやはり往復の時間も友の会の皆さんと話した方が有意義ではないかと思います。

会員Bさん お世話様です。ご苦労様です。中々個人的に旅行に行けなかったので希望します。集合写真有難うございます。

会員Cさん 加藤先生のお人柄に触れる事が出来、お話しさせて頂きとても楽しくありがとうございました。写真もありがとうございました。良い記念になります。皆様のお話を聞かせて頂きいい勉強になりました。時間的に今回位の場所がありがたいです。

会員Dさん 駅までの送迎本当にありがたいです。写真ありがとうございました。娘は一泊旅行を待ち望んでいます宜しくお願いします。先生・スタッフ・役員さん皆様大変お世話かけありがとうございました。娘は又行きたーいと言っていました。

会員Eさん 加藤先生をはじめとする医療関係者、役員の皆様に感謝しかありません。同じような日常生活をしていらっしゃる方々と交遊出来たらと思います。車椅子生活の為、本人の気持ちが蓄積している為とにかく外へ出して他の人と話をさせたい。車送迎してくれる人の都合がつかないと参加が難しい場合があると思います。

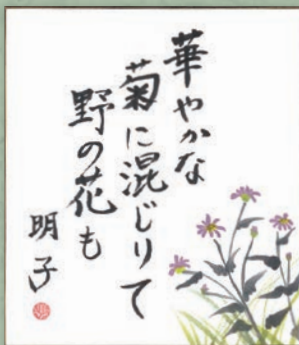
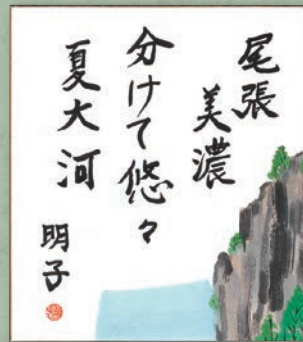
会員Fさん 友の会から送られたしおりと当日内容が違っていたので少しがっかりしました。カラオケはいつでもできると思います。先生のお話や、看護師さんの講話等、やってもらいたかったです。写真送ってくれたり友の会役員の方には親切にして頂いて有難うございました。

看護師さん ・日帰りであれば参加しても良い ・現地集合が良い ・南知多の物(魚類)がもう少しあったら良かった
・他の席の方と交流時間があれば良いと思いました

児玉 ゆき江様



神谷 明子様



俳画

俳画って何？

神谷 明子

一枚の色紙に俳句と絵が描いてあります。

「どっちが先？」

俳画は俳句あつてのもので、まずは俳句を味わって下さい。その俳句から連想する風景や俳句の作者の思いを絵に託しています。

そして最も大切なものが、印、落款です。

俳句ができた。絵も描いた。最後の仕上げが落款です。

全体の雰囲気や落款を壊さないよう「私が描きました。どうぞご覧下さい。」という気持ちを入れて押印します。

今回の作品の中で、皆さんの「好き!」「推し。」はどの作品でしょうか？

これからの私達の励みにもなります。お気軽にお聞かせ下さい。幸いです。

神谷 恵美子様



竹中 良枝様



絵

コーナー



竹川 満壽子様



竹川 満壽子様



鈴木 康則様

写真

コーナー



「雨上がりのあさやけ」
永田 勝美様



檜岡 純子様



檜岡 純子様

書道

コーナー



永田 詠翠様



永田 詠翠様



永田 詠翠様

公益財団法人 The Yoko Kato International Foundation

加藤庸子国際基金

命の助け合いに国境はありません。
医療活動発展の為、皆様のご支援をお待ちしております。

加藤庸子

発展途上国への訪問の実施
現地の若き脳神経外科医の教育

医療機器、教科書、
機関誌の提供

同じ志を持つ研修生、脳神経外科医、
ナースを日本のぼんたね病院へ招く

季刊誌「国際基金だより」
の発行

国内外でのセミナー
ハンズオン講義等の勉強会



ご支援寄附金のお願い

■ゆうちょ銀行 00800-2-137324
■三菱UFJ銀行 一宮支店 普通 0248961
■名古屋銀行 八熊支店 普通 5001977

事務局・お問い合わせ先

名古屋市市中川区尾頭橋三丁目3-18 Licht金山1F

TEL:052-982-8238 FAX:052-982-8128

メールアドレス: dr.yokokato@gmail.com

ホームページ: <http://www.yoko-kato.org>



皆様からのご支援は、加藤庸子の生涯をかけて取り組む医療活動に大切に活用いたします。